

新聞記事

新聞名：日本海新聞

E 時：平成21年8月18日(火)

佐坊地区の魅力探索

大学生が
現地調査
未来予想図作成へ

代

香美町小代区佐坊地区で、学生らは地元住
又(井上克三)区長、32 民たちとの意見交換を
戸)の地域活性化策を 通じて地域の魅力や課
提案しようと、和戸市 題を探索、10年後や20
の神戸夙川学院大学観 年後の集落を描く、「未
光化学部の学生が17 来予想図」を作成する
日、同地区を訪れ、現 計画だ。

地調査を始めた。同大 事業は「大学生によ
ととの共同事業の一 る、むらづくり提案会」



上田さん(左端)から佐坊地区の現状を聞く学生
たち=17日、香美町小代区佐坊の上田さん宅

と名付けられており、
学生らの視点を主かし
て、過疎化が著しい集
落の活性化を図るのが
狙い。農村に興味を持
つ学生らが22日までの
6日間、同区内の元民
宿などに滞在しながら
集落内をくまなく巡
り、住民と直接対話し
ながら調査を重ねる。
調査期間中には、学
生らが戸別訪問して各
戸が抱える課題を調査
するほか、18日には地
元住民を交えた集会を
実施。地区の魅力をま
とめたお宝マップや地
域活性化の意見を発表
する。

17日は、学生らが地
元の上田正子さん宅を
訪問、地域の現状を聞
いた後、上田さんの家
内でダイコン畑や廃屋
などを見て回った。

長野県朝日村出身の いる。郷里と比べなが
同大学3年の高山愛理 ら、佐坊の魅力を見い
さん(28)は、「(佐坊は) だいたい」と意気込ん
地形も含るさ」として、 っていた。(吉田吉伸)